学校番号	２０８

平成３１年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	Tutti 音楽Ⅱ（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰで身に付けた音楽的基礎能力を土台にさらに個人の演奏能力を高め、音楽をより深く知り、味わってもらいたいです。
・学習の到達度は、授業で配布する練習ノートや実技テストで評価します。
・音楽Ⅱの学習では、選択者のメンバーによるグループ演奏を中心に行います。音楽Ⅰで身に付けた音楽的能力を応用し、みんなで音楽を創っていきましょう。その中で、協調性を養い、友達と音楽を創り上げていく喜びを体験してもらいたいです。
・高校の音楽の授業が、みなさんが生涯ずっと音楽を愛好し続けていくきっかけになればと思います。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に取り組む。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持つ。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表そうと取り組む。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴く。
評価方法	観察 練習ノート	観察 練習ノート	実技テスト テストの記録（自分の演奏について・友達の演奏についての感想文）	観察 鑑賞シート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	豊かな声のためのエクササイズ	【歌唱】 身体のウォーミングアップ 声のウォーミオングアップ 見上げてごらん夜の星を 瑠璃色の地球 校歌3番【テスト課題】	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌うことに主体的に取り組もうとしているか。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもって取り組ませる。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けたか。 d:課題曲の音楽構成、歌詞の内容を理解した上で、歌唱表現できたか。	観察 練習ノート 実技テストの記録
	リコーダーアンサンブルを楽しもう！	【器楽】 《音1の復習》 タイタニックのテーマ(SR) グリーンスリーブス(AR) ディズニーメドレー(四重奏)	○	○	○	○	a:音楽Ⅰで習得したソプラノリコーダーとアルトリコーダーの奏法を復習し、それらを組み合わせて合奏する学習に主体的に取り組もうとしているか。 b:音色やリズム・ハーモニーなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組もうとしているか。 c:２種類のリコーダーの音色や吹き方の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。グループのメンバーと協力して合奏したか。 d:四重奏の各パートの役割、他パートとの関わりを理解した上で演奏できたか。	観察 練習ノート 実技テスト(発表会形式) 実技テストの記録 演奏の聴取

1学期	鑑賞①～ディズニーメドレーのプロの演奏を味わおう！～	【鑑賞】 ディズニーメドレー （吹奏楽版）	○		○	○	a：吹奏楽で用いられている様々な楽器の音色や旋律・リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしているか。 c：各楽器の奏法を鑑賞することによって、自分が演奏する際の参考にし、イメージをもって演奏するための技能を磨くことに役立てているか。 d：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や曲想などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いているか。	観察 鑑賞ノート①
2学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 島唄（斉唱） 友～旅立ちの時（混声3）	○	○	○	○	a：曲想と歌詞の内容に関心を持ち、合唱する学習に主体的に取り組もうとしているか。 b：旋律・ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように歌うか表現意図をもって取り組んでいるか。 c：曲想を歌詞の内容と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技法（発声・言葉の発音・呼吸法・姿勢や身体の使い方）を身に付け、パートのメンバーと協力し合い、創造的に取り組んでいるか。 d：三部合唱の各パートの役割、他パートとの関わりを理解した上で表現できたか。	観察 練習ノート 実技テスト （個別に） テストの記録 演奏の聴取

2学期	ギターアンサンブルに挑戦！	【器楽】 《音1の復習》 大きな古時計 島唄(ギター四部合奏)	○	○	○	○	a:ギターの音色や基礎的な奏法を復習し、それらを活かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしているか。。 b:音色・リズム・ハーモニーなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組もうとしているか。 c:ギターの音色や奏法の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。メロディー（上下）、コード、ベースの４パートで合奏し、完成させようとしているか。 d:四重奏の各パートの役割を理解できたか。	観察 実技テスト （発表会形式） 実技テストの記録 演奏の聴取
	島唄の原曲を味わおう！	【鑑賞】 島唄(THE BOOM)	○		○	○	a:沖縄音階の特徴や歌詞の本当の意味に関心を持ち、作詞・作曲者の思いが込めらた演奏を主体的に鑑賞しようとしているか。 c:三線を含む本格的なバンド演奏を鑑賞することによって、自分が演奏する際の参考にし、イメージをもって演奏することに役立てようとしているか。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や曲想などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いているか。	観察 鑑賞ノート②

3学期	自由曲に挑戦！	【器楽】 グループアンサンブル ・2～6名 ・使用楽器 2種類のリコーダー(S･A) ギター キーボード ピアノ	○	○	○	○	a:音楽Ⅰ・Ⅱで修得した２種類のリコーダー、ギターにキーボー、ピアノを加えて自由にグループを組み、選曲し、自主的に音楽を創り上げていこうとしているか。 b:音色・リズム・ハーモニーなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組もうとしているか。 c:各楽器の音色や奏法の要点を活かした技法を身に付け、創造的に奏しようとしているか。各パートの役割（メロディー・コード・ベース）を自覚し、バランスよく合奏し、完成させようとしているか。 d:各課題曲の自分の役割を理解した上で演奏できたか。	観察 練習ノート 実技テスト （発表会形式） 実技テストの記録 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。